

第4回豊川市総合計画審議会での意見及び対応一覧（基本計画）

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
1	第2章	13ページのまちの構造図について、豊川市はどういう路線のバスが走っているかを記載してほしい。 また、地区が書いてあるが、一宮地区は駅の周りだけになっているので、もう少し詳しく、細かく示すことができると良いのではないかな。	佐野川委員	バス路線については、鉄道や道路と異なり見直しにより変更となる場合が考えられるため、原案のとおりとさせていただきます。 また、地区の表記については、各地区を表しているものではなく、拠点を表しているものであるため、原案のとおりとさせていただきます。
2	第3章 総合計画とSDGs の一体的な推進	17ページから19ページですが、SDGsのゴールの11番、「住み続けられるまちづくりを」というものが、人口増や、なるべく転出しないように豊川市で住んでもらう、というゴールに繋がると思う。19ページの表の11番は、17番のパートナーシップと同じように、全部■で良いのではないかな。	後藤委員	いただいたご意見を踏まえ、すべてに施策にゴール11「住み続けられるまちづくりを」を関連するSDGsとして掲載しました。
3	第3章 総合計画とSDGs の一体的な推進	SDGsのゴールは直感的に決めているのではないかなという感じがするので、ターゲットをよく見て設定した方が良いと思う。見せ方も、今回の見せ方よりも前回の見せ方、ゴールごとに施策を出した方が、分かりやすいかもしれない。SDGsの方から、豊川市のあり方を見るということなので、豊川市の施策を見て、これは何に当てはまる、ではないと思う。私たちの市はこれを行っているから、SDGsに関わっているのだ、という見せ方は、行政主導のような感じがするので、ぜひ考えてもらいたい。	小野会長	18、19ページの様式については、SDGsのゴールと各施策の相互の全体的な相関が見やすくなるよう見直したものであるため、原案のとおりとさせていただきます。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
4	第4章	各施策にK P Iを入れることは非常に良いと思うが、2年ごとの目標値の数値の根拠が気になる。例えば27ページの交通事故の発生件数について、第6次のときには減少件数を5等分して、それを徐々に減らしていく形で2年ごとの値を出したのかと思われるが、交通事故や火災などは、何件を目標にして、達成できたか、できなかったか、なので、年数に対して徐々に減らしていくという計画は無理があると思う。2年ごとの数値に根拠があれば良いが、特になければ、目標値を10年後の最終目標値のみとし、必要であれば5年の見直しのときに数値を変えていくと良いのではないか。	河合委員	いただいたご意見を踏まえ、様式を見直しました。
5	第4章	各施策の2ページ目の下の部分に「主な手段」と「事業例」が2つの欄に分けて書いてあるが、第6次計画では、目標指標の欄と一体になっていて、何をやって、どういう効果があるのかが伝わるような記載がされていた。今回は、単に目標に対して主な手段がこれだから、事業はこういうことをする、と書いてあるだけで、何の効果を期待しているのかが見えない。何のために事業例を行うのかが分かりにくい。事業をやること自体が目標になってしまっていて、それに対して、市民がそれで満足するかについて書かれていないように見えるので、その部分を紐づける意味で、目標に対して、こういう事業をやるから、こういう効果を期待している、という書き方にした方が良いと思われる。市民のために、どういう効果を期待しているのか、住みよいまちづくりのために、こういうことをしていく、という部分が見えてこないなので、その部分を見直してほしい。	河合委員	
6	第4章	将来目標の字が小さいので、もっと見やすくした方が良いのではないか。市民の皆さんに、よく分かってもらわなければいけない内容が盛りだくさんの資料なので、特に将来目標はもっと大きく、分かりやすくした方が良い。	戸苅委員	
7	第4章 政策1 施策1	施策の内容が、全般的に歩行者や自転車に対するもので、自動車に対するものではない。人身事故を件数として目標に入れるのは良いと思うが、物損も含めるとかなりあると思うので、人身にならない物損部分も含めた目標があっても良いと思った。また、運転されている方への施策が非常に少ない印象があるので、もしあるのなら、ドライバー側、歩行者側と分けて施策を書く、よりリアルだと思った。	鈴木委員	本施策に定める指標については、特に優先した取組が必要と考えられる人身事故の件数を採用して掲載しています。行政分野別計画に示す事業例は、歩行者・運転者双方を対象として実施しているものもあるため、対象者を分けて掲載することは困難ですが、いただいたご意見は「運転者を対象に実施している取組が十分認知されていない」という趣旨であると認識し、関係課と共有させていただきます。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
8	第4章 政策1 施策1	少子高齢化で高齢者が多くなっているにも関わらず、「主な手段と事業例」のところに、高齢者の交通安全のことが何もうたわれていないのはいかがなものか。やはり、こういう時代になっているということを象徴して、ある程度事業例を記載した方が良いと思う。高齢者が多くなっていることへの対策は必ず何かしているはずなので、事業例で表現した方が、この時代はこうだったということが後で分かると思う。	神谷委員	いただいたご意見のとおり、年々増加する高齢者や、被害者となりやすい子どもを特に意識した取組を展開していることから、事業例を「子どもや高齢者等に向けた交通安全教室の開催」に見直しました。
9	第4章 政策1 施策1	交通事故の件数が、子どもと高齢者を内訳として掲載してある。高齢者の方は246人が115人に半減しているが、子どもの方はあまり減っていない。交通事故が起きたときの立て看板を見ると、自転車と、軽自動車や乗用車がぶつかる事故が多いが、この事業例の内容は、6次とほぼ変わっていない。子どもの事故が多いことが分かるのであれば、子どもに対する交通安全指導を推進するなど、何をやるのかを具体的に挙げていくと良いと思う。単に件数を追うのではなく、内容を追って、だから第7次ではこれを目標にどういう対策をして、この件数を減らしていこう、という部分が見えると良い。	河合委員	
10	第4章 政策1 施策2	令和2年、3年の数値の影響については、補足を入れておくと良いと思った。どうしてこの時は少なかったのか、何年か経ってコロナの記憶が薄れていくと分からなくなってしまうので、補足が入っていれば資料を見たときに分かりやすいと思う。	細井委員	現況に新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる旨を追記しました。
11	第4章 政策1 施策2	全体の件数を減らしていくというよりは、どこをどのように減らすのかがもう少し明確だと良いと思った。防犯に関してのKPIは2つしかなく、満足度という少し曖昧なもの、全体の件数なので、事業例の防犯カメラ設置をとらえた防犯カメラの台数や、特殊詐欺対策をとらえた特殊詐欺の件数など、もう少し別の切り口からでもKPIを増やしたほうが良いのではないかと。	鈴木委員	総合計画の掲載内容としては原案のとおりとさせていただきますが、個別計画や具体的な取組において検討するよう、関係課と共有させていただきます。
12	第4章 政策1 施策2	特殊詐欺はこれからもっと高度化して、件数は増えていくと思われる。事業例の中に「特殊詐欺対策の推進」があるが、これは格上げして、主な手段の方に入れても良いのではないかと。	戸荻委員	総合計画の掲載内容としては原案のとおりとさせていただきますが、個別計画や具体的な取組において検討するよう、関係課と共有させていただきます。
13	第4章 政策1 施策1 政策1 施策2	交通安全も防犯も、「警察・関係団体との連携による事業の推進」とあるが、この目標数値が警察と連携して実現可能なものとして話がついている数字なのか。	鈴木委員	どちらの指標についても、警察と共有し、達成に向けて連携して取り組んでいくものです。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
14	第4章 政策1 施策3	防災は福祉計画にも関係していると思うが、どこかに書かれているから「本施策を推進する計画など」の中に入っていないのか。重層的支援体制整備事業が始まっているので、災害や防災に関することから福祉は外せないと思う。以前はそれだけでも良かったのかもしれないが、世の中も変わってきて、福祉の部分も関連する計画になっているのではないかな。	神谷委員	高齢者や障害のある方、外国人などへの災害時の支援については、豊川市地域防災計画において要配慮者支援対策として掲載されています。
15	第4章 政策1 施策3	外国人の災害避難ということもあると思うので、避難所の多言語化等も含めて、ここに入れた方が良いと思う。福祉、介護、障害、外国人など、特に災害時はマイノリティのところに負担が集中しますので、それを入れた方が良いと思う。	辰巳委員	いただいたご意見を踏まえ、事業例に「避難行動要支援者への支援」を追加しました。
16	第4章 政策1 施策3	目標値を、おそらく他の施策の目標値と同じように、トレンドを加味して件数などを決めていると思うが、例えば「耐震性のある住宅」は、望ましいのは100%で、その内の98%以上が達成できればいいのでは、と理解している。ただ、その下の「都市浸水対策達成率」や、「防災アプリ及びとよかわ安心メール登録件数」のようなものは、これだけ必要だという件数があると思うので、そちらの方を大きな目標として、どこかに「100%を目指すべきだが、この計画期間の中では81%を目指す」と書くか、あるいは、「アプリは人口の90%くらいが登録していることが望ましい。ただし、この期間内では、目標として、65,000件にする」といった形で、トレンドで設定できる部分と、絶対的にこれだけ整備する必要がある部分があるため、事業によって分けたほうが良い。	辰巳委員	すべての指標についてご意見の内容を掲載することは困難であるため、第4章「1行政分野別計画で記載するもの」の重要業績評価指標の説明に、各指標が目指す最終的な目標に対して計画期間中の目標値を定めている旨を記載しました。
17	第4章 政策1 施策5	「市域全体の二酸化炭素排出量」というKPIがあるが、豊川市は市長が「2050年にカーボンニュートラルを目指す」と宣言している。排出量もちろん大事だが、2050年にネットゼロ、使う量と回収する量を一致させることを目標に掲げているので、それを反映したような目標値にしたほうが良い。	辰巳委員	本指標は、豊川市ゼロカーボンシティ宣言の内容を踏まえた二酸化炭素排出量の数値になっていることが確認できましたので、原案のとおりとさせていただきます。
18	第4章 政策1 施策5	パークアンドライドの推進について、すごく大事な取組だと思うが、なぜ掲載がなくなってしまったのか。	神谷委員	パークアンドライドの推進については、政策4 施策2（コンパクトシティの推進）において位置付けております。計画全体の構成として再掲となる事業の記載を整理したものでしたが、いただいたご意見を踏まえ、事業例に「パークアンドライドの推進」を追加しました。
19	第4章 政策1 施策6	東三河ごみ焼却施設広域化計画があるが、今回の計画期間中に事業が進むのか、又は今回の計画には直接影響しないのか。	辰巳委員	東三河ごみ焼却施設広域化計画に基づく広域処理体制案の検討中であるため、現時点では本計画への影響はない見込みです。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
20	第4章 政策1 施策6	「ごみ処理対策」の市民意識調査で、市民がごみのことに関して一番期待しているのはごみや資源を土日にも持ち込めるようにするということなのだが、市民が一番期待している、土日にごみを持ち込めるようにすることに対する手段や事業例がないのはなぜか。	大竹委員	ごみの種類に応じて、土曜日午前や祝日に清掃工場や三月田最終処分場に持ち込めるようになっていきます。いただいたご意見は、「そのような情報の市民への周知が不十分である」という趣旨であると認識し、関係課と共有させていただきます。
21	第4章 政策1 施策7	テレビで上下水道の老朽化によって道路が陥没するニュースを見たが、その関連の指標は入れないのか。	大場委員	水道については、計画的な更新の状況をとらえる指標として「水道管の耐震化率」を採用しています。 いただいたご意見を踏まえて、下水道についても、計画的な更新の状況をとらえる指標として「下水道管（陶管）の改築率」を掲載しました。
22	第4章 政策1 施策7	目標指標について、音羽川の方は、おそらくこれ以上悪化することがないのであれば、目標から外して、今後の目標として、佐奈川の方に集中的に取り組む姿勢を見せると良いのではないか。	辰巳委員	佐奈川及び音羽川については、環境基本法に基づく個別の設定がされている河川であり、市内の水環境の保全の状況をとらえるために引き続き指標として設定する必要があると考えるため、原案のとおりとさせていただきます。